

# 薬剤情報データベース

## 大分類

医療機関システム

調剤薬局システム

ヘルスケア・解析

## 中分類

服薬指導支援

医療用医薬品情報

## 概要

医療用医薬品\*の識別情報、効能・効果、副作用、相互作用、注意事項で構成された、患者さん向けの薬剤情報データベース

## 特徴

最新データを素早く提供

患者さん向けに  
わかりやすい表現  
を使用

一定の基準に従って  
添付文書等より  
抽出した情報

\* 薬価基準収載医薬品のうち、麻酔薬、検査薬、歯科用剤、賦形剤等を除く約20,000品目及びワクチン、経口避妊薬、勃起不全治療薬等の一部の薬価基準未収載医薬品

# 薬剤情報データベース

## ご利用場面

- 薬剤情報提供書、お薬手帳、薬袋などに
- 服薬指導支援に
- 副作用の注意喚起に
- 一般の方向けアプリ等の薬剤情報コンテンツとして

# 薬剤情報データベース

## データ構成

医薬品	YJコード
薬剤識別	剤形 色調 本体記号
効能・効果	詳しい説明 簡単な説明
副作用	主な副作用 直ちに対処すべき副作用 重大な副作用の初期症状
相互作用	一緒に服用できない薬や飲食物
注意事項	注意すること (属性区分*、年齢・性別)

- 医薬品ごとに項目別に薬剤情報を保持
- コメント情報はすべてコード化
- 必要な項目を組み合わせて、ご希望の情報構成、出力順の設定が可能
- 注意事項は、さらに属性区分\*や、年齢・性別による出力制御が可能

\*注意事項を内容別に9種類に分類した区分

# 薬剤情報データベース

## 効能・効果のデータ例

医薬品名: アプルウェイ錠20mg

効能・効果 (簡単な説明)	血糖値を下げる薬です。
効能・効果 (詳しい説明)	血糖値を下げる薬です。 血液中の余分なブドウ糖を尿中に 排泄することにより、血糖値を 下げます。

- 『簡易版(効能)』  
『詳細版(作用機序まで)』  
の使い分けが可能
- 患者さんにわかりやすく簡潔な  
表現を使用

青字部分: 簡単な説明(効能)

© Medical Database Co.,Ltd.

# 薬剤情報データベース

## 副作用のデータ例

医薬品名: アプルウェイ錠20mg

主な副作用	口が渇く、尿の回数が多い、…(中略)…等が現れることがあります。
直ちに対処すべき副作用	<ul style="list-style-type: none"><li>• 脱水、血圧の低下、過度の体重減少等が認められた場合は、すぐに受診して下さい。</li><li>• …(他略)</li></ul>
重大な副作用	発熱、寒気がする、気分が悪い、冷や汗が出る、…(以下略)。

- 副作用の早期発見、適切な対処を支援
- 3種類の副作用データから選択、使い分けが可能
  - 主な副作用:  
頻度が高く特徴的な副作用
  - 直ちに対処すべき副作用:  
即時中止、直ちに受診など対処が必要な症状や対応
  - 重大な副作用:  
重大な副作用の初期症状

# 薬剤情報データベース

## 相互作用のデータ例

医薬品名: オーラップ錠1mg

一緒に服用 できないくすり	うつ病、強迫性障害の薬: フルボキサミン
	抗真菌薬の一部 (アゾール系抗真菌薬)
一緒に摂取 できない飲食物	グレープフルーツ(ジュース): 服用期間中は避けること。 副作用が強くなることがあります。

- 併用できない医薬品、飲食物を、患者さん向けにわかりやすく記載

# 薬剤情報データベース

## 注意事項：患者属性別データ例

医薬品名：リウマトレックスカプセル2mg

コード/ 拡張 コード*	J1152/4	J1152/5
コメント	男性は服用中及び服用終了後3カ月間は必ず避妊して下さい。	女性は服用中及び服用終了後1月経周期は必ず避妊して下さい。
年齢上限	—	60歳
年齢下限	15歳	15歳
性別	1(男性)	2(女性)
属性区分	3 (生活上の指示、指導、注意)	

- 主に添付文書に基づき、患者さんに必要な注意情報を網羅
- 属性区分による注意事項の選択が可能
- 年齢・性別に応じた出力制御が可能

\* 情報ごとにコード化し、YJコードに紐付いている。拡張コードは患者属性別の情報があることを示す。

# 薬剤情報データベース

## 『おくすりの説明書』表示例

### アプルウェイ錠20mg / トホグリフロジン水和物錠



1回1錠朝食前 1日1錠

剤形：フィルムコーティング錠

色：薄黄

本体コード：sa TOF

#### 【効能・効果】

血糖値を下げる薬です。

血液中の余分なブドウ糖を尿中に排泄することにより、血糖値を下げます。

#### 【副作用】

口が渇く、尿の回数が多い、低血糖、尿路感染、多尿、便秘、空腹、めまい、性器感染、血中ケトン体増加等が現れることがあります。

#### 【注意】

- 薬の作用により尿量が増えたり尿の回数が多くなり、体液量が減少することがあるので、医師の指示に従って適度な水分補給をして下さい。
- 低血糖症状(めまい、ふらつき、冷や汗、震え等)が…(以下略)。

Note: 薬剤の画像情報は別データになります。

© Medical Database Co.,Ltd.